

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900805		
法人名	北海道医療株式会社		
事業所名	グループホームハッピーヴィラしんまち		
所在地	北海道旭川市6条西1丁目1番2号		
自己評価作成日	平成27年11月30日	評価結果市町村受理日	平成28年1月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=tr ue&amp;JigvosyoCd=0172900805-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=tr ue&amp;JigvosyoCd=0172900805-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西1丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成27年12月16日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設14年！地域に根ざしたグループホームを目指し、現在も取り組んでおります。定期的に演奏会や日常生活で役立つ勉強会を地域に呼びかけ、一緒に一時を過ごし、ともに助け合い、誰しもが馴染みのある住み慣れた地域で生活が送れる様、考慮しながら取り組んでおります。  
そのかいあり、地域の方が現在2名居住され、ご家族様やご近所様との距離が離れることなく、又、見慣れた環境で地域に住み、自宅に居た時と差ほど変わりなく、穏やかに過ごしていただけるよう配慮しております。  
他、以前ご本人様がよく行かれていた場所や仕事(田畑)などへ行き、昔懐かしさを感じていただけるよう回想法をもちいて取り組み又、各自の特技や趣味、出来る事を活かした活動を無理なく行っていただき、残存能力が維持され、何時までも、ご自分の意向で生活がなされる様、取り組んでおります。

スーパー・コンビニ・飲食店・美術館・公園・病院に近く、利便性の良い事業所である。社員寮を改装した2階建て1ユニットの建物で、リビングやラウンジの窓からは、道行く人達や近隣の住宅が臨め、市街地の生活感が身近に感じられる。運営母体の医療法人は医療・保健・福祉の分野において、地域と共に歩んできた豊富な実績があり、長年培ったノウハウはサービスの質の向上と運営に活かされている。事業所のある地域の町内会活動が停滞している事から、管理者及び職員は、事業所を地域住民が集える場所として、笑いのヨガ・オカリナ・マジックショー・救急救命講習等、毎月の行事を案内し交流している。利用者の経験や知識が発揮できるように、身体機能に合わせたレクリエーションを日課とし、事業所内でも楽しく過ごせるよう工夫しており、利用者作成のパッチワークキルトやはり絵を高齢者文化展に出品し、銀座商店街の七夕祭りには、くす玉を出品する等、地域での生活を体感できる活動を、積極的に取り入れており、保育園児の訪問もある。恵まれた住環境の中で利用者をやさしく支え、地域に根ざした家庭的で暖かい、地域密着型事業所である。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざしたグループホームを目指してを主として定期的に催しや勉強会などを開催し地域に呼びかけ一緒に共有する時間を用いながら取り組んでいる。	事業所独自の理念は、事務所やリビングに掲示している。全職員は、事業所の理念を記載したカードを携帯し、常に確認しながら実践に向け取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	上記同様、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせられるよう、地域との交流の場を定期的に行い呼びかけ互いに助け合いながら過ごせるよう取り組んでいる。	町内会活動が機能していないので、事業所の行事に合わせ地域の人々が集う場を提供している。笑いのヨガ・オカリナ・手品等のボランティア訪問も多く、保育園児との交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や定期的な催しなどからグループホームでの生活状況を把握していただき、認知症の方に対する理解や支援方法を伝達している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	避難訓練の内容についてのご意見や行方不明者が出た時の対応、協力支援を求め、対応策の案件に生かしている。又、催しや勉強会の開催案件を伺い、ご意見を元に対策している。	定期開催している運営推進会議には、地域住民・家族・民生委員・保育園園長等が出席し、行事予定と報告・地域との交流・防災計画等が話し合わせ、事業所の運営に効果を上げている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	指導監査課へ事々の連絡や、お教えをいただきながらサービス提供や報告書作成を行い、連携が図れるよう取り組んでいる。	行政とは、ケアサービスの疑問や質問等を随時相談し、日常的に連絡を取り共にサービスの質の向上に取り組んでいる。旭川グループホーム連絡会に参加し、他の事業所と交流の機会がある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	指定基準を常に意識しながら取り組んでいるが、業務や他者の介助対応、建物構造などから見守りが手薄になることもある為、指導監査課へ報告し、状況を説明しながら、常に規定準を意識した取り組みを行っている。	重要事項説明書に、拘束の具体的な行為について明記している。指定基準を確認して、基本的なケアの実践に活かすよう職員相互の共有をはかり、利用者の安心と安全の遵守に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に話しあいながら拘束、虐待にならぬ対応がなされる様、話し、常日頃、意識考慮しながら対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	具体的に話はしていないが、以前サービスを利用されていた方がおり、サービスの内容について話している。今後サービスを利用されることを考慮し勉強して行きたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	常日頃からご家族様と話し、その中で徐々に伝え、ご家族様からの話しも伺いながら互いが納得の行くよう、ご理解がなされるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	機会というよりは常に日頃から会話の場があり、その中でご意見等伺い、サービス向上に反映されるようにしている。	意見箱を設置し、事業所独自のアンケート調査を実施している。また来所時の会話の中から、希望や要望をくみ取り家族の思いを、運営に反映するようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	事業者内ではスタッフ会議などで運営にいたる迄の提案を話し、その上で上部へ伝え、取り組んでいる。	職員参加の会議は月1～2回あり、意見や提案を聞く機会がある。そこで出た意見は、ケアサービスの充実に効果を上げている。人事考課制度を導入し、各個人の実績を評価している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	内部の事業所聞き取り調査などで勤務状況等を伝え、又、研修や勉強会を定期的に設け、知識習得を得て業務向上に繋げられるよう配慮されている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	上記同様、定期的な聞き取り調査などから事業所の業務状況に適した勉強会があり、又、各自の力量向上がなされる機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ系列間の会議や勉強会の場から、相互間で情報交換を行い連携が図れる取組みがなされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様やご家族様からの要望等を伺いながら出来る限りの対応に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今迄のご本人様とご家族の関係を伺い、ご家族が行っていた対応や違う視点を考慮しながら要望にそうように取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	常時、ご来所された時など、話の場を設け、要望を伺い、意向にそうように対応をし、その都度、経過報告をしながら一緒に協力しあいながら対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	親近感のあり方について考慮しながら、状況に合わせた対応を行い、尊厳を念頭においた対応、共同関係になれるよう取り組んでいる。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様にご来所された時や催しの場で一緒に過ごせる空間を作り、絆を深めていただけるよう配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容室や同級生同士の月に一度のお食事会の参加などの送迎を行い、何時までもご縁が持続していけるよう配慮している。	家族や友人とは、混乱なく交流が続けられるように配慮している。ストレスにならないよう職員が支援し、以前の生活や趣味を通じた回想なども行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い者同士や、意向が違う人との関係を見極めながら孤立せず、調和性を保ちながら過ごせるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今迄築いた関係を保てるよう、出来るかぎりの相談、対応をし、互いの経過が良いものになれるよう努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各自の生活思考や習慣を把握し、今迄と変わりのない、自分らしい生活が送れるようご家族様とも相談をしながら取り組んでいる。	日頃の会話や表情、行動等から利用者の思いや意向の把握に努めている。また家族からも意見や意向を聞きながらケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	上記に同じ		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自己の生活ペースや心身の様子について把握し、その時々状況に合わせた対応をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の意向を主にどのように支援したら良いか？考慮し、その上で、ご家族様とも相談をしながら現状にそのような対応、計画支援に努めている。	センター方式を活用し、日常生活の言動等から利用者の意向を汲み取るほか、個々の食事・排泄・睡眠等の状況や、医師・看護師の意見を参考としながら、介護計画の定期及び随時見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録や情報、対応策を作成し、より良い、その都度に合わせた対応がなされる様、計画の見直しや対応の仕方について考慮している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスからその都度、状況変化に柔軟に対応したサービス、支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人様やご家族様から今迄の暮らしや生活状況を伺い、馴染みのある生活を安全、快適に過ごせるよう配慮している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様の要望を第一に、かかりつけ病院への配慮をし、互いに納得の行くよう取り組んでいる。	協力医の訪問診療は月に一度あり、運営母体である医療法人の支援は24時間体制で受けることができる。他に、個々の病状に合わせ皮膚科・眼科・整形などの通院支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気づきや情報を元に、常に看護師や担当医に相談をし、入居者様のその時々に応じた対応がなされるよう配慮している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中、現状の様子を把握しながら相談員、担当医、リハスタッフ、ご家族と話し合いながら退院後の生活につなげられるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時や、その時の入居者様の状態を見ながら次の生活先の拠点考慮について話し、他の部署や外部機関等に紹介し、連携を図りながら取り組んでいる。	重度化や看取りについては、重要事項説明書に明記してある。個々の利用者について、関係者全員で、今後の方針を早い時期から話し合いを進め、不安感をもたない様に対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に普通救命講習会や、保健師さんに急変時の対応、見極め方、疾患についての講習会を依頼し、即時の対応に備えられるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や、運営推進会議時、災害時の対応対策についての内容を見ていただき、ご意見を元に災害時のマニュアル作成をし、取り組んでいる。	利用者と近隣住民参加で、年3回避難訓練を実施している。消防署指導のもと、救急救命講習を受講しており、地域に参加を呼び掛けている。	万が一の災害時に慌てる事がないように、備蓄品は運営母体と相談し必要な品を準備することを期待したい。また、停電や断水時等の防災訓練の実施を期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各入居者様の言動などを把握出来る様、情報収集をし、個人の尊重を意識しながらの対応を心がけている。又、親しみ感から馴れ馴れしくならぬよう、意識しながら対応している。	プライバシーや尊厳に関わる事は、周囲に配慮しながら行っている。また、個人情報は事務所で適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の行動や会話から思いや、要望を伺い、自己の意思表示がなされる様、配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々により、職員の業務が優先とならざるをえない状況になる時もあるが、出来る限り入居者様の対応を優先されるよう意識しながら取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	各自の使用されている物や習慣となっている事、又、身だしなみについて常時入居者様にお話し、意識されるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みなど把握しながら盛り付けを行っているが、栄養面で偏らないよう配慮している。他、ご自宅で行われていた準備や野菜の筋とりなど無理なく促し、残存能力を生かした取組みをしている。	一人ひとりの力に応じて、職員と共に食事の準備や後片付けを行い、職員と共に食卓を囲み談笑しながら和やかに食事をしている。外食行事も多く、利用者の楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士さんの献立のもと、量や、塩分、糖質調整を行いながら、バランスよく栄養が確保されるよう提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人様の様子を伺いながら、常時口腔ケアを促し、習慣化されるようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的な時間誘導を行い、自らの排泄行動が習慣化されるよう、又、排泄時、排便量の確認をさせていただいているが、失礼な対応にならないよう、尊厳を意識しながら取り組んでいる。	一人ひとりの心身の状況や、個々のサインを見逃さないように、尊厳に配慮したトイレ誘導をしている。ユニットにはトイレが5カ所あり、使いやすい整備され、清潔である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や、食事、薬調整など、看護師と相談しながら正常な排便間隔が保てるよう配慮している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人様の様子を伺いながら、無理なく入浴されるよう、又、仲の良い人同士で入浴し、楽しみながら心身ともに穏やかな時間が経過されるよう配慮している。又、出来る限り、入居者様を優先においた取組みをしている。	カランが3ヶ所設置された大きな浴室があり、仲の良い利用者同士、楽しみながらゆっくり入浴している。入浴を拒否傾向の利用者には、声かけや時間帯の調整など工夫した支援を行っており、清潔保持には心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自己の生活ペースを維持しながら充実した生活が送れるよう配慮している。又、様子を伺いながら無理なくレクリエーションに参加し、楽しんでいただけるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の効能についてバイタル表に記載をし、常時把握出来る様にしている。又、看護師さんに効能や副作用、その時々適した服薬とその後の状況を常時把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味、特技を生かし、楽しく活気があり、メリハリのある生活が送れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別に仲の良い者同士でお出掛けレクを促し、楽しんでいただける様、又、出来る限りの要望を叶えられるよう配慮している。	心身の活性化につながるよう、日常的に外気浴・散歩・公園散策・買い物等、希望に応じた外出支援を行い、閉塞感を防ぐ観点からも室内に閉じこもらない生活を支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談をしながらご本人様が所持金保持が出来る金額で、管理していただき、何時までも所持に対する管理意識が保てるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の様子を伺いながら無理なく、手紙を書くことの促しをしたり、自らも電話が出来る体制をとっている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ラウンジや浴室等など、絵や観葉植物、切り絵などを飾り、にぎやかで落ち着いた空間が演出される様、又、室内温度は入居者様に常時伺い適度な温度で過ごしていただけるよう配慮している。	リビングや廊下の壁には、高齢者文化展に出品した利用者の作品を展示し、さらに季節に合わせた装飾をしている。採光・臭気・温湿度・換気に注意を払い、清潔で居心地のよい共有空間となっている。ラウンジには、足をのばしてくつろげる畳敷のスペースもある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを各場所に置き、1人の空間や仲の良い者同士で過ごせるよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を持ってきていただき、自宅で生活をしていた時と変わりなく、落ち着いた空間で過ごしていただけるよう配慮している。	居室には自宅を使い慣れた私物や調度品などを持ち込み、馴染みの品々に囲まれ安心して寛いで過ごせるよう配慮しており、夏の暑さ対策としてクーラーも設置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各入居者様の行動を把握し、出来る限り、ご自分で無理なく安全に行動がなされる様、危険な箇所や段差など常時考慮しながら対応している。		